

平成 21 年 1 月 7 日

舞台技術・制作担当者 様

主催：(財)埼玉県芸術文化振興財団

協力：公共劇場舞台技術者連絡会 / 劇場等演出空間運用基準協議会

さいたま 舞台技術フォーラム

安全かつ創造的な舞台運営をめざして

2009 ムービングライトはどこまで身近に

1981 年、ジェネシスのワールドツアーで登場したムービングライトは、今やかなり身近な照明器具となってきました。この 30 年足らずで、それはどんな進化を遂げ、最新技術が駆使された機種はどのような可能性を秘めているのでしょうか。そしてまた、舞台での創造的な技術業務を、安全かつ効果的に遂行できる道具として、劇場備品に加える意義もある器具となり得るのでしょうか。

今年度はこのムービングライトをテーマに、積極的に劇場備品として導入されているところや計画中のところから、またメーカー側からお集まりいただき、パネルディスカッションを行って、その将来性を浮き彫りにし、次世代の舞台照明設備機器更新の参考にしよう企画しました。

舞台は、そこに集うスタッフの心意気で、全く違ったものが生まれます。

舞台技術スタッフ、舞台管理スタッフのみなさん、そして企画制作スタッフや劇場運営の幹部スタッフのみなさん、社会に活力を送り出す創造的な舞台を、意欲的かつ安全に作るための技術を一緒に研究しませんか？

日時 平成 21 年 2 月 9 日 (月) 13 時 30 分から

会場 彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

<http://www.saf.or.jp/arthall/guide/access.html>

参加費 無料

申込 平成 21 年 2 月 6 日 (金) までに、別紙の申込書にてメール又は FAX にてお送りください。(送信票不要)

お電話でのお申し込みの際は、番号をよくご確認ください。

【送付先・問合せ】

担当者：彩の国さいたま芸術劇場 技術支援担当グループ 丹野・山海

TEL：048-858-5504 FAX：048(858)5515

E-mail：tanno@saf.or.jp

さいたま

ムービングライトはどこまで身近に

舞台技術フォーラム

2009

安全かつ創造的な舞台運営をめざして

第1部「劇場等演出空間運用ガイドラインをみる」

舞台の安全は、どうしたら確保できるのか。昨年度に作成された「劇場等演出空間ガイドライン2008年度版共通篇」に続いて、現在「2009年度版専門篇」が整備されつつあります。その内容を一般公開前に検証します。

解説： 伊藤久幸 公共劇場舞台技術者連絡会 会長代行
(財)新国立劇場運営財団 舞台技術部長
大和 滋 劇場等演出空間運用基準協議会 事務局
(社)日本芸能実演家団体協議会 芸能文化振興部長

第2部「公共劇場におけるムービングライトの運用と現状」

最新テクノロジーが舞台創造の現場をどう変えていくのかを、ムービングライトを取り巻く状況を検証しながら、皆さんで考えてみたいと思います。安全を確保しつつ、創造的な舞台を可能にしてくれるものであれば、高嶺の花と思われていた機器も舞台に必要な道具になるかもしれません。

パネリスト： 西村 充 いわき芸術文化交流館 施設管理課舞台技術グループ
柏木法人 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 舞台技術部
磯野 睦 (財)新国立劇場運営財団 舞台技術部照明課
長谷川 晃 (株)PRGアジア 販売部アシスタントマネージャー

コーディネータ：岩品 武顕 (財)埼玉県芸術文化振興財団 技術支援グループ

主催：(財)埼玉県芸術文化振興財団

協力：公共劇場舞台技術者連絡会 / 劇場等演出空間運用基準協議会